

コロナ禍の今だからこそ がんのことを考えよう

コロナ禍は、がん診療に影響を及ぼします

○コロナ禍が長期化すると、がん診療・検診に対するケアが十分に行なえず、最終的にがんの死亡率が上がってしまう可能性があります。

比べてみよう！ 新型コロナウイルスとがん

	新たにごんと診断された人	がんで死亡した人
がん	約98万人 男性：約56万人 女性：約42万人 【2017年統計】	約37万人 男性：約22万人 女性：約15万人 男性：361.6人 女性：243.0人 ※人口10万人当たり 【2018年統計】

新型コロナウイルス	患者数	死亡者数
	60,110人	1,160人 【2020.8.20 現在】

○新型コロナウイルスの感染者数が全国で累計6万人（2020年8月20日現在）を超えたと報道される一方で、毎年約100万人が新たにごんと診断され、約37万人が亡くなっています。1日あたり2,500人以上が新たにごんと診断され、1,000人以上が命を落としています。
新型コロナウイルス対策も重要ですが、がん診療やがん検診も同時に真剣に考える必要があります。

がんの3大治療

～早期発見だから受けられる治療があります～

手術療法

切除により完治が期待される場合に行われることが多いですが、体には負担がかかり合併症も心配されます。胃がんや大腸がんの早期には内視鏡的治療で完治することがあります。

化学療法

がんの種類に応じた抗がん剤やホルモンを投与する化学療法は、全身のいろいろなところに転移した小さながんにも効果が期待できますが副作用が出たり治療が長期になることがあります。

放射線治療

病巣に放射線を照射してがんを死滅させる方法で、化学療法と併用しておこなわれることもあります。炎症などの副作用が出ることがあります。

コロナだし
今年の検診は
やめようかな...

**がんは
自粛しません**



本当に
それでいいの？



日本人におけるがんの現状

日本人に多いがんは

	1	2	3	4	5
男性	前立腺	胃	大腸	肺	肝
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮
総数	大腸	胃	肺	乳房	前立腺

死亡数の多いがんは

	1	2	3	4	5
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
総数	肺	大腸	胃	膵臓	肝

日本人に多い大腸がんの例

○大腸がんは、検診（便潜血検査や大腸内視鏡検査）により早期発見が可能ながんです。そして早期に発見し内視鏡下で摘除すれば完治可能な場合も少なくありません。実際、大腸がん検診受診率が70%以上と高い米国では、50歳以上の大腸がんにかかる率が2000年以降32%減少し、その死亡者数も34%減少していることが報告されています。

日本では、検診で便潜血検査を受ける人は20%程度です。しかも便潜血検査陽性の場合に大腸内視鏡による精密検査を受ける人の割合は60～70%です。がんの可能性があると知りながら、多くの人が精密検査を受けないでいるのが実情です。